

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 令和6年 4月 15日

事業所名 ピルエット

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	0		基準を満たした人員配置を行っています。より高い専門性を目指してまいります
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1		手すりなどつかまることが出来る箇所はあるが、段差やぬかるみもある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	屋外活動が中心ですが、雨天時等は屋内でも楽しめる内容を企画していきます。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0		日々業務改善を図っていきたい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		保護者様からのご意見を頂戴し業務改善に努めてまいります
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		ホームページに掲載しています
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		今後の課題としたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	県主催のものに加え、事業所独自の研修の機会も設けています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0		より丁寧に要望をとらえ計画を立ててまいります
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		地域支援についても力を入れていきたい
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	乗馬レッスンを通じて楽しみながら参加できる内容を心掛けている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	楽しむ内容とスキルを磨くレッスンを行っています。	飽きない工夫を継続して行っていきます
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	6か月ごとに作成している		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	開始前にミーティングを行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	その日の支援で気づいた点などを職員同士で振り返りを行い共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		日誌に記録をとり振り返りを行っています
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0		6か月ごとに見直しと更新を行っています
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1		保護者を通じた情報共有になりがち。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2		保護者を通じた情報共有になりがち。現在対象となる利用者様はいないが、対象者が出た時には連携をしていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3		保護者を通じた情報共有になりがち。現在対象となる利用者様はいないが、対象者が出た時には連携をしていきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3		個人情報保護の観点からなかなか連携が難しい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3		個人情報保護の観点からなかなか連携が難しい。一部ご協力を頂けている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	4		不足している部分もあるので今後の課題としたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	ボランティアさんが活動に参加して下さっています。	幅広い年齢層のご参加を目指していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2		なかなか出来ていないため今後の課題としたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	2		不足している部分もあるのでより一層心がけていきたい
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1		不足している部分もあるので今後の課題としたい	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		丁寧な説明を心掛けています
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		5つの領域(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)を踏まえた計画を作成していきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0		より丁寧に聞き取りと支援を行っています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	親の会「キャロット」を運営しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		その都度聞き取りと対応をさせて頂いています
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	会報「リプトン」を月に1度発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	予め取り決めたジェスチャーで意思疎通を図っています。	それぞれの利用者様に適した方法で(視覚・聴覚など)意思疎通を図っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	馬と触れ合う機会を設けている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1		文書を掲示し周知を図ってまいります。また、レッスン前後の時間を中心に周知説明をしてまいります
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		継続して訓練を行っています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1		見学の際に聞き取りを行っています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		食物アレルギーのある利用者様は現在はいない。対象者が出た場合には基準ののっとって行います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	虐待防止研修に参加し共有しています。	虐待防止委員会を設置し職員に伝達しています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	4		身体拘束を必要とする利用者様は現在はいない。対象者が出た場合には基準ののっとって行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。